

令和3年第1回臨時会（第1号）

令和3年2月8日（月曜日）午前10時00分開議

○議事日程

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
日程第 2 会期の決定
日程第 3 議案第1号 令和2年度七飯町一般会計補正予算（第10号）

○出席議員（18名）

議 長	18番	木 下 敏	副 議 長	17番	青 山 金 助
	1番	横 田 有 一		2番	神 崎 和 枝
	3番	平 松 俊 一		4番	池 田 誠 悦
	5番	田 村 敏 郎		6番	稲 垣 明 美
	7番	畑 中 静 一		8番	長谷川 生 人
	9番	上 野 武 彦		10番	坂 本 繁
	11番	澤 出 明 宏		12番	中 島 勝 也
	13番	川 村 主 税		14番	中 川 友 規
	15番	若 山 雅 行		16番	川 上 弘 一

○欠席議員（0名）

○地方自治法第121条の規定により本会議に出席を求めた説明員

町 長 中 宮 安 一

○町長の委任を受けたもので出席を求めた説明員

副 町 長	宮 田 東	総 務 部 長	釣 谷 隆 士
民 生 部 長	杉 原 太	経 済 部 長	青 山 芳 弘
総務部総務財政課長	倍 楼 司	総務部情報防災課長	若 山 みつる
総務部政策推進課長	中 村 雄 司	民生部福祉課長	村 山 徳 收
民生部子育て健康支援課長	岩 上 剛	経済部商工観光課長	福 川 晃 也
経 済 部 土 木 課 長	佐々木 陵 二		

○地方自治法第121条の規定により本会議に出席を求めた説明員

教 育 長 與 田 敏 樹

○教育長の委任を受けたもので出席を求めた説明員

教 育 次 長	扇 田 誠	学 校 教 育 課 長	北 村 公 志
学校給食センター長	柴 田 憲		

○本会議の書記

事 務 局 長 関 口 順 子 書 記 妹 尾 洋 兵

書 記 佐々木 宏 美

○会議規則第116条の規定により指名された会議録署名議員

16番 川 上 弘 一

17番 青 山 金 助

午前10時00分 開会

開 議 宣 告

○議長（木下 敏） ただいまから、令和3年第1回七飯町議会臨時会を開会いたします。直ちに本日の会議を開きます。

日程第1

会議録署名議員の指名

○議長（木下 敏） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員として、

16番 川上 弘一 議員

17番 青山 金助 議員

以上、2議員を指名いたします。

日程第2

会期の決定

○議長（木下 敏） 日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は本日1日といたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（木下 敏） 御異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は本日1日とすることに決定いたしました。

諸 般 の 報 告

○議長（木下 敏） この際、諸般の報告を行います。

本臨時会に、町長より提案された議件は、議案1件であります。

次に、地方自治法第121条の規定により本会議に出席を求めた説明員は、その職、氏名を印刷してお手元に配付のとおりであります。

次に、町政動向報告が町長より提出されておりますので、お手元に配付しております。

以上で、諸般の報告を終わります。

日程第3

議案第1号 令和2年度七飯町一般会計補正予算（第10号）

○議長（木下 敏） 日程第3 議案第1号令和2年度七飯町一般会計補正予算（第10号）を議題といたします。

提案説明を求めます。

総務財政課長。

○総務財政課長（倍楼 司） それでは、議案第1号令和2年度七飯町一般会計補正予算（第10号）について、ご説明申し上げます。

このたびの補正は、今後の新型コロナウイルス感染症に対応するため、地方創生臨時交付金を活用した新たな事業予算の追加、需要が高い事業予算の増額及び現計予算の執行見込みによる予算減額。また、今年度は降雪及び気温の低い日が続いたため、除雪の回数が多く、今後の降雪状況により予算不足が見込まれることによる予算増額。

加えて、コロナウイルスワクチン接種が近々始まりますが、接種券、案内の作成などの準備のための事業予算を計上するとともに、翌年度分については債務負担行為を設定することが主なものでございます。

更に、今回、既存の地方創生臨時交付金と別枠で国の補助事業の町負担分に充当できる交付金が新たに出されたこと、また、それぞれの事業の実績見込みに基づき、再度交付金の割り当てを行ったことによる財源更正がございます。

第1条は、既定予算の総額に、歳入歳出それぞれ5,988万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ162億6,068万8千円とするものでございます。

第2条、債務負担行為の追加は、第2表によるものでございます。

続きまして、9ページの歳出をご覧願います。

財源更正以外の歳出の増減を伴う事業について、ご説明いたします。

1款議会費1項1目議会費は、新型コロナウイルス感染症への対応につきましては、傍聴者の三

密対策、感染予防対策の一環として、自宅に居ながら会議を傍聴することができるシステムの確立のため、インターネットにより会議の配信を行う仕組みを構築することから、役務費は、光ケーブル回線の初期設定電話料2万1千円の追加、専用回線通信料として3月分の電話料8千円の追加、委託料は、本会議場等配線業務委託料13万2千円の追加、備品購入費は、インターネット配信に伴う配信機器、映像編集用パソコン等が必要なため、議会中継配信機器等購入費57万円の追加、事業合計73万1千円の追加。

2款総務費、1項5目財産管理費は、庁舎管理費として、執行見込みにより、需用費は、庁舎用消耗品費17万1千円の減額、備品購入費は、庁舎用備品購入費80万円の減額、事業合計25万1千円の減額。

6目電算管理費は、委託料で保健センターの新型コロナウイルス感染症対策に係る町民問い合わせが多く、今後はワクチン接種の問い合わせについても殺到することが想定されるため、電話機を更新し機能強化を図る必要があるため、保健センター電話機更新委託料29万6千円の追加。

3款民生費1項1目社会福祉総務費は、社会福祉総務費（地域福祉）として、委託料は、高齢者の居住及び入所施設、障がい者の共同生活施設の感染防止対策に伴う施設職員の定期的なPCR検査のため、高齢者・障がい者入所施設職員等PCR検査委託料1,196万8千円の追加、負担金、補助及び交付金は、高齢者、障害者及び子育て支援施設の社会福祉施設等において、保健所による行政検査の対象とはなりません、施設の長が必要があると判断し、その任意の指示により職員が新型コロナウイルスの検査であるPCR検査、抗原検査等を受検した場合、その費用について1回当たり11,000円を上限として助成するため、社会福祉施設等職員任意検査費用立替払分補助金110万円の追加、事業合計1,306万8千円の追加。

2項1目児童福祉総務費は、報償費で、コロナ禍における町内子育て支援施設等に勤務する従事者1名あたり3万円の慰労金の支給のため、児童福祉施設等従業者慰労金960万円の追加。

4款衛生費1項2目予防費は、疾病予防等保健対策費として、執行見込みにより委託料は、インフルエンザ予防接種委託料740万9千円の減額、負担金、補助及び交付金は、インフルエンザ予防接種費用助成金71万6千円の減額、母子保健対策費として、執行見込みにより負担金、補助及び交付金は、出産支援給付金330万円の減額、新型コロナウイルスワクチン接種事業費として、2月中旬から準備開始となるワクチン接種に係るデータ処理のシステム構築やワクチン接種などの体制整備に急を要することから新たに事業化するもので、需用費は、感染予防に係る消耗品費で50万円の追加、印刷製本費は、周知用チラシ、予診券の印刷のため21万9千円の追加、役務費は、ワクチン接種券発送に伴う郵便料94万円の追加、委託料は、医療従事者を対象としたワクチン接種委託料205万円の追加、ワクチン管理委託料11万円の追加、コールセンター開設等委託料として199万5千円の追加、接種券印刷等委託料516万8千円の追加、接種システム導入等委託料43万2千円の追加、住民周知文書全戸配布委託料16万7千円の追加、事業合計1,158万1千円の追加。

5款労働費1項1目労働諸費は、負担金、補助及び交付金で、冬期間の季節労働者の失業対策として、これまで大沼函館雪と氷の祭典において天然氷の切り出し作業、祭典の準備や当日の警備等を行ってきましたが、今年度は祭典の中止により、就労機会が失われたため、大沼国定公園の環境整備として雑木等の除去などで雇用し、季節労働者の生活支援と公園としての観光地づくりを図るため、観光客受入環境整備事業補助金265万8千円の追加。

7款商工費1項1目商工費は、持続化給付金事業費として、執行見込みにより負担金、補助及び交付金は、持続化給付金2,090万円の減額、新しい生活様式対応支援事業費として、負担金、補助及び交付金は、昨年12月に七飯町商工会からの要望に基づき事業化した改修等支援補助金について、活用希望が多いことから4,096万円の追加、2目観光費は、観光費として負担金、補助及び交付金は、本年度の大沼函館雪と氷の祭典

が中止となったことから、大沼函館雪と氷の祭典負担金921万円の減額、観光誘客促進事業費は、執行見込みにより、負担金、補助及び交付金は、団体旅行支援商品造成助成金300万円の減額、団体旅行支援誘客促進助成金716万1千円の減額、事業合計1,016万1千円の減額。

8款土木費1項1目土木総務費は、土木作業車管理費として、今後の除雪に対応するため、需用費は、燃料費(軽油)196万1千円の追加、2項1目道路橋りょう維持費は、除排雪対策費として、今後の除雪対策等を行うため、需用費はロードヒーティング電気料132万円の追加、委託料は、町道等除雪委託料3,010万円の追加、使用料及び賃借料は、除雪作業用重機等借上料358万円の追加、事業合計3,500万円の追加。

10款教育費1項2目事務局費は、スクールバス運行費として、執行見込みにより委託料は、スクールバス運行業務委託料386万円の減額、5項2目学校給食費は、学校給食センター運営費として、執行見込みにより負担金、補助及び交付金は、学校給食費減免補助金57万3千円の減額でございます。

次に、7ページの歳入に戻っていただきます。

14款国庫支出金1項2目衛生費国庫負担金は、ワクチン接種のため、新型コロナウイルスワクチン接種負担金205万円の追加、2項1目総務費国庫補助金は、国の補助事業の地方負担分に交付金を充当できる新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金2,397万円の追加、3目衛生費国庫補助金は、ワクチン接種のため、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保補助金953万1千円の追加。

18款繰入金1項1目財政調整基金繰入金は、2,433万4千円の追加でございます。

次に、3ページに戻っていただきます。

第2表債務負担行為補正でございます。

このたび、追加となるのは、4款衛生費1項保健衛生費の新型コロナウイルスワクチン接種事業で、令和3年度に9,013万円を限度額として設定するものでございます。

提案説明は、以上でございます。

よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○議長(木下 敏) これより、質疑を許します。

上野武彦議員。

○9番(上野武彦) それでは、質問させていただきますけれど。

一般の10ページ、社会福祉総務費です。ここで1,306万8千円のPCR検査の関連の予算が計上されました。非常に喜ばしいことなのですが、ここで先ほどの説明の中では、定期的な継続的という表現を入れた検査を実施するというものであります。

それで、この中で障害者、高齢者入所施設の職員に関しては、2月と3月、2回実施するという中身ですね。

それから、社会福祉施設関係の職員に関しては、これは任意という形の検査で1回の予算が計上されております。これは先ほどの説明では、定期的な継続的などというような表現があったわけですが、この二つの件について、2回と1回だけなのですが、これについては今後どういう計画で考えておられるのか。

北斗市なんかの場合は、7月くらいまで連続毎月やるというような計画が出ております。予算も七飯町に比べると10倍くらいの予算が計上されて。北斗市の場合は、クラスターが何回か発生したということもありまして、抜本的な対策ということなのですが、七飯町はそういった点ではこういう施設でのクラスターは今のところ発生しておりませんが、十分今後発生する可能性があります。特に、北斗市でそういう施設で働いていた感染者の中に七飯町在住の職員もいたといったそういう情報も入っておりますし、十分注意をしていく必要があるのかなというふうに思いますけれど。今の提案では、十分ではないのではないかなという感じがしますので、こういう中身で提案した理由について説明をいただきたい。

○議長(木下 敏) 福祉課長。

○福祉課長(村山徳収) ただ今議員から御質問があった社会福祉総務費の12節委託料、高齢者・障がい者入所施設職員等PCR検査委託料、そして18節負担金、補助及び交付金の社会福祉施設等職員任意検査費用立替払分補助金という、

私どものほうで二本立てで今回予算のほうを提案させていただいたところでございます。

委託料のほうのものについてでございますが、こちらについては、高齢者の施設の入所系、入居系。特別養護老人ホームであったり、老健施設であったり、グループホームであったりというところでございます。障害の施設については、七飯町内においてはグループホームがあるというものでございます。

まず、入所系、入居系は何故毎月定期的という検査によりという提案をさせていただいたかというご説明でございますが、入所系、入居系については、重症化リスクの高い方々が24時間その施設で生活し、従業者とともに過ごしている状態でございます。

こういうことによって、全国的に入所系、入居系については、クラスターが発生する傾向が大きい環境にあるというところでございます。

そういった中で、国の通知においても、去年の秋からこういった施設の施設職員等の検査について徹底してほしいということで、都道府県には通知が行っているというところでございます。

そういった中で、こういった部分の自費での検査、入所系、入居系の補助については、その費用については、都道府県が都道府県国保連に委託している新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業という補助があります。

そちらを利用して、職員の方々のそういう検査をしてくださという通知が来ているところでございますが、実際、七飯町内の施設にヒアリングしたところ、この都道府県の補助金について、色々な対策、マスク買ったり、アルコール消毒買ったり、空気清浄機買ったりというところで、皆さん補助基準額以上をもう使っているという状況でございますので、町といたしましては、そういう現状をヒアリングした結果、月に1回程度定期的な検査により、クラスターを防止して、そういった施設の財政的な一助という意味で、今回は委託料において、こういった定期的な検査を実施したいというところでございます。

次に、18の補助金、負担金なのですが、こちらも同様に、施設の職員の方については、体温

等、咳とか健康状態を色々と毎日チェックして、仕事をしているという形でございます。

そういった中で、従業者におかれましては、体調が思わしくない場合、出勤などをしないなどの対応をしているというところで国のほうで通知しております。

こういったところで、今、七飯町内においては入所系、入居系、訪問系、通所系については、議員のおっしゃられたとおり、クラスターは発生しておりませんが、新型コロナウイルス感染症の対策については、職員の皆様、従業員の皆様については、国からの通知、またそれ以上の対応をしているというところでございますので、そういった場合、熱が発生した場合、仕事に出られないと。復帰した場合はちょっと心配だと。不安解消のために、施設の長が認める場合には、そういった自費での検査、保健所による行政検査にはならない検査についての費用を助成していこうという考えでございます。

なお、この二つのことについては、今回、令和2年度の予算の補正でございますので、2月、3月分の補正とさせていただいておりますが、来年度以降についても、予算について検討をして、何とか計上をしていきたいという考えでございます。

以上でございます。

○議長(木下 敏) 上野武彦議員。

○9番(上野武彦) 継続してやるということですけれども、社会福祉施設の職員に関しては任意という形での実施ということですけれども、こちら辺について任意ということは、受けない人も出るということになると思うのですが、そうした場合の今後の対応が一つ問題になると思いますけれども。その辺が一つと。

それから、今回の社会福祉施設職員に関しては、障害者、高齢者と比べますと、2回というふうになっておりませんので、1回限りになっておりますけれども、これはどういうことなのか確認をしたいと思います。

定期的にするということで予算も相当今後かかるふうに思います。ただ、最近検査の方法も簡略といえますか、プール検査というのが行われるよ

うになってきております。例えば10人単位とか、その単位を決めて、一括して検査にかけると。その中で陽性が出た場合に個別にPCR検査にするというような形をやりますと、予算が非常に軽減されるということで、ぴしっと予算化することができるのではないかと考えていますので、そういうことも考えていただきたいと思います。

それで問題は、子育て支援の関係に関しては、今回は慰労金という形で出しますけれども、子育て支援関係でも320人も従業員、従事者がいるわけです。そういったところにもやっていく必要があるのではないかと考えています。それから、今対象になった障害者、高齢者の入所施設ですよね、入所ではなくて、例えばデイサービスとかそういう形で利用する高齢者もいるわけですよね。

もっと対象を抜本的に考え直して、発生させないようにやっていく必要があるのではないかと考えているのですが、こういった点についてどうお考えになるかちょっとお伺いします。

○議長(木下 敏) 福祉課長。

○福祉課長(村山徳収) まず、任意のほうのPCR検査でございますが、1人1回という取り決めではなく、施設の長が職員の方に必要と認める場合の自費の検査の費用でございますので。例えば、2か月の間に複数回発熱等で休んだ後に復帰する際に、ちょっと検査してきてといった場合も対応は可能かなと思います。

また、任意のほうについては、子育て関係の施設の通所系、障害、高齢者の通所系のほうをカバーしているという形でございます。委託料のほうのPCR検査については、入所、入居系ということで住み分けさせていただいております。

また、先ほど議員のおっしゃられた10人単位でのプール法、プールして検査する方法ということも今後ということでございますが、こちらについても国のほうから新たな検査方法の確立云々かんぬんという通知は来ています。

そういった部分でその実施主体が、国は都道府県が実施主体となって、プール法というのかね、検体をプールする検査方法等については、

都道府県が実施主体となって実施するようということで通知が来ているというところでございますので、その流れを見極めながら、七飯町にとってどのような対応していくかというのは、今後検討していきたいと思っておりますので、ご理解のほどをよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○議長(木下 敏) 上野武彦議員。

○9番(上野武彦) 今の答弁の中では、子育て支援施設に関しての具体的な答弁が含まれておりませんでしたので、それを再度お願いいたします。

○議長(木下 敏) 福祉課長。

○福祉課長(村山徳収) 子育て支援施設のほうでございますが、子育て支援施設については七飯町内は通所系だけでございます。例えば、保育所であったり、学童であったりというところについては、先ほどの任意のPCR検査の助成のほうで対応させていただくという形でございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○議長(木下 敏) ほかに、質疑ございませんか。

若山雅行議員。

○15番(若山雅行) それでは、何点か確認の質問をさせていただきたいと思っております。

まず、今後のスケジュールというか、全体のことについて確認したいのですけれども、3月までに、今期中にこの資金は使ってしまうわけにはいけないという、そういう制約があると聞いているのですけれども。現在実施中の事業も、もう既に完了したものもあるし、実施中の事業もあって、使用見込みはこのあれでマックスなのかもしれないのですけれども。逆に予算が事業の中で残ったような場合に、再度全部使い切るために補正という可能性もあるのかどうか。これを全体のあれとして、まず確認したいと思っております。

そして、次に項目ごとにちょっと聞いていきたいと思っておりますけれども。まず、ページ一般の10ページ目で先ほど同僚議員が質問した民生費社会福祉費社会福祉総務費の中の12委託料ということで、PCR検査を費用を出して実施してくれる

ということで、2月、3月ということなのですけれども、現在のPCR検査の状況というか、町内でも可能なかどうか。検査の単価1回やったらいくらなのか。これは標準してあれなのか。予算の根拠というか、こういうのでこの委託料については、全額補助なのか、あるいは、かかった分の一部の補助なのか、そのところをちょっとはっきりしていただきたいなというふうに思います。

それと、同じページの18負担金、補助及び交付金の中の項目ですけれども、任意検査費用立替分とあって、先ほどの説明でもPCR検査、抗原検査等というような言い方をしていたのですけれども、この任意検査費用立替というのは他にも何か想定しているような検査の項目のようなものがあるのかどうかです。そのところをちょっと教えていただきたいと思います。

次、一般の12ページの3番の民生費ですね。

児童福祉総務費の7報償費……、児童福祉施設等従業者慰労金ですけれども、一人3万円を支給という説明だったのですけれども、これについては現金で支給するのか、今までどおりの商品券等で支給するのかどうか、そのところをちょっと教えていただきたいと思います。

次は、一般の14ページに該当する7の商工費で、18項目ですね、負担金、補助及び交付金の中の新しい生活様式対応支援事業費ということで、希望が多いので増額したということになってはいるのですけれども、改修等支援補助金ですけれども、一応100件分となっているのですけれども、件数の見込みの根拠のようなものは何かお持ちなのかどうか。逆に、それ以上要望があった場合、今後全事業主に対応するのかどうか、そのところのちょっと考え方を聞きしたいと思います。

あわせて、補正予算には入っていないのですけれども、以前企業の雇用に関して、事業主に対する補助とかは出ているのですけれども、雇用を守るという意味での雇用調整助成金の申請の支援とか助成をとという要望をこの場で出したことがあるのですけれども。それでしたら、ハローワークからの無料で専門家が派遣されて指導を受けることができるので、そういう対応はほらないというよう

な御説明を受けていたのですけれども。実際に町内の事業主の雇用調整助成金の申請に関する何かその後の情報というか、ハローワークのほうがちと対応していたので、困っている事業主はいないとか、助かっていたとか、あるいはそれではちょっとうまくいっていないのではないかとか、その辺ところの情報があれば教えていただきたいなと思います。

次、14ページ同じですね。商工費観光費の中のこれも負担金、補助及び交付金で観光誘客促進事業費について、結構大きく減額されているのですけれども、説明では執行見込みという簡単な説明だったのですけれども、この減額の要因について何か特別なコメントがあれば教えていただきたいなと思います。

次、一般の16ページ。同じように減額の要因として、10款の教育費の教育総務費事務局費の委託料、スクールバス運行費のこちらも結構大きな金額で減額になっているのですけれども、執行見込みという説明だけだったのですけれども。何か理由、行事が中止になったとか、当初の見込みが多かったとか、その辺のところをちょっとお聞かせいただければなと思います。

質問は以上です。

○議長（木下 敏） 政策推進課長。

○政策推進課長（中村雄司） 私のほうから新型コロナウイルスの臨時交付金の関係の全般的なことで答弁をさせていただきたいと思います。

こちら臨時交付金につきましては、これまで一次の交付、二次の交付ということでございました。今回、国庫補助の裏分ということで想定しておりまして、今回の予算の中では合わせまして6億1,084万7千円ということで歳入として考えております。

これの令和2年度の使い道でございますけれども、今回の補正予算をもって増額に関する部分については、これで終わりというような想定でございます。

ただ、3月まで事業執行しておりますので、整理予算という意味合いでは補正予算はございますので、一部減額等ございますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

以上でございます。

○議長（木下 敏） 福祉課長。

○福祉課長（村山徳収） それでは、民生費のほうの10ページでございます。社会福祉総務費の委託料と18節補助金のほうの積算根拠等でございますが、まず12の委託料でございますが、高齢者・障がい者入所施設職員等PCR検査委託料でございます。

こちら、函館にある臨床検査機関がある事業所から税抜き1万円の見積をいただき、それについて人数のほうを入所系、入居系の職員のヒアリングをさせていただいた結果、人数が544名ということでございます。その2か月分ということで1,196万8千円というところで委託料については積算させていただいております。

18節の社会福祉施設等職員任意検査費用助成事業でございますが、こちらについては、先ほどの委託料と同じくPCR検査はその函館の検査機関の1万1千円。抗原検査については、町内のクリニックでも1万1千円で実施しているというところで、上限は1万1千円という形でございます。

また、施設の長の判断によって、そこ以外の例えば、検査機関等を実施した場合においても、補助は行いますが、上限は1人1回当たり1万1千円と。複数回先ほどもあれですけれども、1人何回でもいいのですけれども、1回当たり1万1千円が上限という形で助成していきたい。1回施設若しくは職員の方が負担していただき、領収書を添付して申請いただければ、町のほうで申請のあった口座に償還金として、お戻しするという制度でございます。

任意検査の費用について、1万1千円の、概算で発熱等により休んだ職員が戻るであろうという人数は、なかなか具体の人数は把握できないので、2か月おおよそ100人を見込んでいうところでございます。予算が110万円という形でございます。

以上でございます。

○議長（木下 敏） 子育て健康支援課長。

○子育て健康支援課長（岩上 剛） それでは、議案ページの12ページになります。児童福祉施設

等従事者慰労金についてでございますが、これにつきましては説明にもあったとおり1人3万円に対して、320人を対象に960万円を支給させていただくという内容でございます。

前回6月に1万円のアップル商品券ということで慰労を込めた支給をさせていただきましたけれども、継続して収束が見込めない中での子育て従事者のために今回また改めまして、今回は現金で支給するというところで捉えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

以上でございます。

○議長（木下 敏） 商工観光課長。

○商工観光課長（福川晃也） 私のほうから、商工費の部分で3点につきましてお答えをしてみたいと思います。

まず、新しい生活様式対応支援事業費の積算の内容でございますが、こちら12月定例会におきまして、当初の金額30件を見込んで上限の40万円ということで事業費1,200万円ほどを議決をいただいて執行をしまっているところでございます。

この度、実際に受付を開始しましたところ、非常に活用事例が多く、各事業者の方々がこの制度を活用してコロナ感染症防止対策に取り組んでいらっしゃるということで、商工会も非常にきめ細かく対応をいただいているところでございまして、この度、100件という概算で提案をさせていただいてございますが、こちらにつきましても商工会の要望を踏まえた上で、100件を計上させていただいているところでございます。

まだこちらの補助金につきましては、受付期間が今月いっぱいございますので、今後の見込みでこの度100件出させていただいてございますが、今後につきましてはの補正に関しましては、七飯町商工会の要望にでき得る限り応えてまいりたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

それから2点目、雇用調整助成金の状況ということでございます。こちらは、以前にも御答弁申し上げましたとおり、国のほうでは各自自治体ごとの内訳、件数を公表してございませんので、町としましては把握ができない状況でございます。

しかしながら、この雇用調整助成金に限った話ではございませんが、この度減額となつてはございますが、町といたしましては、広く皆様、事業者素早く資金供給をしたいということで持続化給付金事業という形で実施をしているところでございます。こういった雇用調整助成金に限ってはございませんが、こういった町の政策を活用していただいて、新型コロナウイルス感染症対策として利活用していただきたいと考えているところでございますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

それから3点目、観光誘客促進事業費の減額の要因でございます。

まず、300万円を減額させていただいております団体旅行支援商品造成助成金につきましては、こちらも議会で御説明しましたとおり、国のG・O・T・Oトラベルと併用して活用していただくようということで、感染防止対策を徹底していただく団体旅行につきまして定額を補助していくというような仕組みで提案をさせていただきましたが、G・O・T・Oトラベル自体がその他の補助事業の併用が可能ということでございましたので、こちらは全額を執行しておりませんので、この度全額を減額させていただくということでございます。

また、団体旅行支援誘客促進助成金につきましては、こちらは旅行会社が七飯町を目的地とした旅行を、ツアーを組んでいただいて、その実績に応じて助成をしていく、団体旅行助成の仕組みでございます。

こちら8月から受付を開始しておりまして、その際は非常に国のG・O・T・Oトラベル等もありまして、非常に好評でありまして、当初予算提案いたしました1,700万円の上限に達しましたので、受付を中断していたところでございます。

しかしながら、その後首都圏を中心に新型コロナウイルス感染症が非常に拡大をしまして、結果、非常事態宣言にも至つてございまして、団体旅行のキャンセルが相次いだところでございます。

現在、そういったキャンセルその他申込み、申請状況を踏まえまして、この度の減額をさせていただくということでございます。

以上でございます。

○議長（木下 敏） 学校教育課長。

○学校教育課長（北村公志） 私からはスクールバスの運行費の減額について御説明申し上げます。

議員のおっしゃるとおり、吹奏楽祭をはじめとした様々な学校行事が中止になったことによる減額補正でございます。

以上でございます。

○議長（木下 敏） 若山雅行議員。

○15番（若山雅行） 1点、任意の検査の項目に関して、先ほど聞いたのはPCR検査、抗原検査等ということで、所長が指示した検査を受けたら1万1千円を上限に支援しますよという話をしたのだけれども。僕が考えるのは、PCR検査か抗原検査くらいしか思いつかないのだけれども、コロナの関係で何か他に検査する項目というか、そういうものが想定しているから、等なのか、ただ言葉の流れとして等なのか、そこのところをちょっと確認したくて質問したので、もう一度お願いしたいなというふうに思います。

それと、商工関係の雇用の関係の雇用調整助成金の申請の関係でいくと、そうすると町内の事業者がそれについて苦労しているとか、うまくいっているとかというそういう情報は全く得ていないということではよろしいわけですか。何かヒアリングしたりですか、どうなっているのかと。僕が聞いている事業者では、やっぱり社労士に払う一割くらいの負担が結構大きいのだということで、函館のように社労士負担費用を上限決めて出してもらえれば助かるのになという話もあったものですから。そういうところを議会で話したときには、ハローワークの専門家が行って、きちっと申請を作る手伝いをするので、無料でやってくれるので、町としてはそういう配慮をしなくても事業者として困らないのだというような説明があったものですから。その後のフォローといいますか、その辺のところをうまくいっているとか、思ったよりうまくいっていないとか。よく聞いたらやっぱり申請は非常に難しいらしいのですよね。期間が限られていますし、函館のほうも締めをしている状況だったので、あれなのではけれども。

その辺のところを例えばそういう事業をすれば、データの的なものも取れるし、そういう意味でやられたらいかかなのかなと思ってあれしたので、この次の三次の補正もありますしね、その辺のところをちょっとご意見含めてもう一回伺いたいなというふうに思います。

それと、G o T o トラベルが終わっちゃったので、中止したので、観光客誘致促進事業があれだってあったのですけれども。前回の補正というか情報提供の中では、この事業については満額も使う見込みだよというようなことが載っていたのけれども、今回減額されているので、あれどうしてと思ったのですけれども。これは、前回まではきちっと申し込みとか何か話が進んでいたけれども、今の説明でいくとキャンセルとかがあったので、結局執行までいかなかったということで減額になったという確認でよろしいのかどうか、そこをもう一度お願いしたいなと思います。

以上です。

○議長（木下 敏） 若山議員に申し上げます。

2問目の質疑なのですけれども、要はなぜ今回の補正予算に社労士の補助金等のものを付けないのかという質問でいいのかな。そうでないと、質疑が成り立たないので、だから今回二次補正にそれを付けなかった、要はその部分が付いてないけれど、それはどういうことかという答弁でいいですか。

若山雅行議員。

○15番（若山雅行） それでも構わないと思います。

私は、事業主に対して新しい生活様式というか改修支援とか出ているので、雇用に対してどういう見方をしているのですかというつもりだったので、不十分だったと思いますので、今の議長のような質問に対する答弁ということで構いません。お願いします。

○議長（木下 敏） 福祉課長。

○福祉課長（村山徳収） それでは、質問のPCR検査等でございますが、内容については、私どものほうで想定しているのは、七飯町内、ここの近郊で実施されているPCR検査と抗原検査の二つを想定しているというところでございます。

以上でございます。

○議長（木下 敏） 商工観光課長。

○商工観光課長（福川晃也） 雇用調整助成金の利用に関する補助が今回提案に入っていないというような中身でございますが、この雇用調整助成金の利用状況につきましては、全体的な利用状況把握ということを行ってございませんが、その都度関係団体、直接間接通じまして事業者さんとはお話をさせていただいております、利用されている方いらっしゃるというのは、うちのほうにも情報としてございます。

その中で、この雇用調整助成金の手続きの関係で自前でやられている事業者さんもういらっしゃいます。それから、今お話しにありました社労士さんを介してというような。そういった雇用調整助成金の申請の状況もございましたので、先ほどの答弁と重なりますが、この雇用調整助成金に限った形ではなく、町といたしましては、いち早く事業者の皆様にお手元に資金を供給したいということで、一つは持続化給付金。こういった持続化給付金といった制度を用意しましたので、こちらの活用を広く呼びかけていたところでございます。

今後につきましては、今正確にお答えすることができませんが、その都度都度に応じて、そういったニーズをくみ取りながら、制度として事業費を計上していきたいと考えてございますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

それから、誘客促進事業費の減額の関係なのですけれども、こちらG o T o トラベルの中止ということではなくて、感染症拡大で首都圏のほうでこういった外出自粛といった雰囲気幅広く影響が及んでまいりましたので、非常に団体旅行が成り立たない。こちらとしては、10名以上の団体旅行について助成をしますよ、というような制度で補助申請を受け付けてまいりましたが、これが10名の催行に至らなかった。そのほかにも、そういった団体旅行の募集ができるような状況にないということで、取下げや実績が申請額を大きく下回るというような事態が続いてまいりました。

そして、残り3月の上旬までの催行でぎりぎりまで受付をしているところでございますが、そういった理由もありまして、団体旅行の設定が困

難、催行が困難ということになってございますので、こういった補助申請が順次取下げなど、そのほか完了しているものもありますけれども、そういった状況で決算の状況を推計しまして、この度の減額ということでございます。

以上でございます。

○議長（木下 敏） ほか、質疑ございませんか。ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（木下 敏） 質疑を終わります。

これより、討論を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（木下 敏） 討論を終わります。

これより、採決を行います。

議案第1号令和2年度七飯町一般会計補正予算（第10号）を、原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（木下 敏） 御異議なしと認めます。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

閉 会 宣 告

○議長（木下 敏） 以上で、本臨時会に付議された全ての案件の審議は終了いたしました。

よって、令和3年第1回七飯町議会臨時会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午前10時53分 閉会